

Course number		U-LAS02 20005 LJ35					
Course title (and course title in English)		近代芸術論 A Theory of Modern Arts A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,Sayoko UEDA	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Wed.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
近代京都洋画史							
幕末維新时期から明治、大正、昭和前期の京都における洋画の流れを概観する。近代京都の洋画の代表的作例について、時代ごとにわけて分析する							
[Course objectives]							
近代京都洋画における表現の特徴などを理解し、作品の歴史的意義を考察できるようになる。絵画に関する鑑賞力と分析力を身につけ、自分の言葉で考えることができるようになる。美術史研究の方法、考え方を習得できる。							
[Course schedule and contents]							
1 イン트로ダクション 2 田村宗立 3、4 浅井忠 5 丙午画会 6 鹿子木孟郎 7 太田喜二郎 8 黒田重太郎 9 黒猫会、仮面会 10 津田青楓 11 梅原龍三郎 12 安井曾太郎 13 須田国太郎 14 北脇昇、小牧源太郎 15 フィードバック							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
期末レポートの成績（80％） 平常点評価（20％） 平常点評価には、授業への積極性、毎回の講義でのワークシートにより評価します。 期末レポートは授業に沿った内容で論点を明確にしており、丁寧に文献などを調査した上で、自ら							
Continue to 近代芸術論 A (2)							

近代芸術論 A (2)

の考察を展開しているものについて、高い点を与える。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

『京都の美術 京都の洋画 資料研究』（京都市美術館, 1980年）
黒田重太郎 『改訂版 京都洋画の黎明期』（山崎書店, 2006年）ISBN:4903711005
児島薫 『日本の美術352 明治の洋画 鹿子木孟郎と太平洋画会』（至文堂, 1995年）
島田康寛 『日本の美術353 明治の洋画 浅井忠と京都洋画壇』（至文堂, 1995年）
毎回の講義でも参考文献を紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

美術館・博物館などに積極的に足を運び、各自で美術作品を見学すること。
毎回の授業内では、できるだけ多くの作品画像を紹介し、併せて参考文献を示す。授業を理解し、到達目標を達成するためにも、参考文献に目を通し、自分で関連する文献・資料などを探して読むなど、授業外の学習を積極的に進めること。

[Other information (office hours, etc.)]

授業終了後10分間程度教室にて待機するので、質問があればその時間を利用すること。